

カグヤでは、クルー同士別々の場所においても、互いの気持ちや様子が共有できるように、「カグヤニュース」という社内報を毎日メール配信しています。ここでは、その中から一部を抜粋して、日々の実践をご紹介します。

お金ではない給与



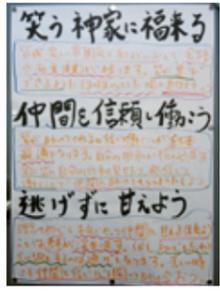
メッセージは毎月季節に合ったお花のレターに！

社内では「讃給（サンキュー）」という取り組みをしています。

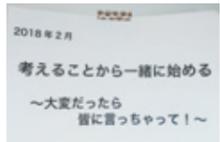
もともとは、クルーの自己肯定感やモチベーションを上げると共に、お金ではなく心の豊かさといった新たな価値観の発信源のひとつになれば…と、共に働く仲間の「お金に換算できない心遣い」や「無限の価値を生むかもしれないアイデア」、「個性や生き方＆働き方、存在そのもの」などの「プラスな価値」に対する感謝を、毎月の給与明細と共に

みんなで一緒に続行中

「一人でやらない、みんなで一緒に」と、ほとんどの役割の担当を固定せず順番に回すなど環境や意識の改善が続けていますが、「担当制」刷り込みは根深く、いまだに揉め事は絶えません。出張などが重なりシャッフルした仕事さえままならなくなっても「みんな同じ大変」「自



仕事私事になって個々が追い詰められないようにと、当主自ら筆を執る月替わり刷り込みカレンダー。クルーの意識改革に一役買っています！



月のテーマ。キーワードはいつも「みんな」♪



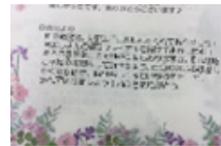
今月の役割分担！パートナーさんも入って全員でシャッフル♪

分の仕事だから」と誰にも助けを求めず抱え込んでしまうのです。結果、本人のみならず全員が追い詰められる事に…。その度に何度も話し合いを繰り返し環境を変えてきました。物事に対する考え方も感覚もみんな違います。個々のやり方があり、それは個性でもあります。だからこそ一緒に良いのです。「みんな一緒に」の改革はこれからも続きます。

本人へ届けようと始めたもの。そのうち「自分も大切に」という想いも込めて、「讃給」の対象は仲間だけでなく、自分自身に対しても感謝のメッセージを送ることになりました。そんな実践を始めもう6年になります。毎月この機会に振り返ることによって、単に受け取る喜びだけではなく、改めて仲間の素敵な働き方や仲間からの支え、見守りに気付いたり…と、普段忘れがちな感謝の気持ちと共に今ある幸せを思い出せる機会にもなっています。



手帳にはさんだ讃給を見返して味わうことも。



自分への感謝を意識してみると、自分の心とも向き合える機会にも…

日本生まれの文化

先月号の竹取新聞では、社内恒例となっているバレンタインデーの様子を掲載させて頂きました。そして今度はホワイトデーを迎えたわけですが、『普段とは違った時間をゆっくり過ごしてほしい』という男性陣のおもてなしのもと、まるでレストランにいるかのようなゆったりとした至福の時間を過ごすことができました。忙しい中でもそんな環境まで用意してくれる心遣い



どれから食べ始めようか…♪その相談だけで30分経過！バレンタインに続き、男性陣に失笑されてもそれもまた大きな見守りと感じるのでは。

むかしの保育

一期一会庵

先日、かつて廻船問屋だった古民家を修繕し保育園として活用している園を見学させていただく縁がありました。江戸末期に建てられた家がいままで活かされ、現代の子どもたちを見守り育てている様子にとっても感動をしました。初めは10人くらいから地域の子どもたちを預かり始めることになり、今では110人くらいの子どもたちの保育をするほどになっているそうです。

新築を建て替えずに粘り強く修繕をし続ける理由を先代の園長先生にお聴きすると、「ご先祖様が遺してくださったものだからそれを大切にしたいだけです。」とシンプルに仰っておられました。園内を見学していると、建物全体から伝わってくる温もりや安心、居心地の良さや楽しさを実感し懐かしい気持ちになりました。このように昔からあるものをいのち

永く使われた中で保育されることが、

が嬉しく、女性陣の心もお腹も満たされるひとときでした。そもそもホワイトデーという文化は日本で生まれたものだそうです。義理堅く、なんでもお返ししたくなってしまう日本人ならではのイベントなのかもしれないですね。

子どもたちの未来にどのような影響があるだろうと思うと、この保育園の存在自体が大変貴重であることが分かります。日本の精神文化の一つにある「もったいない」ということを単に知識や技術で教えるのではなく、「古民家での生活」を先生にしながら、今の大人たちの生き方で教えずにして教えている様子に日本の伝統が結ばれていくことを実感します。

私が取り組んでいる古民家養生もまた日本人の道徳の養生を志すものです。子どもたちのいのちの根を日本文化という地下水脈から吸い上げていけるように、「むかし」からある大切なものをいつまでも守り続けそれを譲り渡していくことに使命を感じています。このご縁を大切にしながら、引き続き私たちが子どもたちの未来に譲り遺していきたい風土や初心を皆様と一緒に傳承していきたいと思えます。

【編集後記】

今月もご覧頂きありがとうございます。年度替わりでお忙しいことと存じます。体調管理には充分気を付けてお過ごし下さいませ。

カグヤは「子ども第一義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます



本社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング2号館10階
tel.03-5909-7155
fax.03-5909-7199

カグヤウェブセンター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階
tel.03-3518-6217
fax.03-3518-6218

フリーダイヤル 0120-917-389
URL: <http://www.caguya.co.jp>
E-mail: support@caguya.co.jp
受付時間 月～金 9:00～18:00
(土・日曜祝祭日を除く)